

新電気炉の竣工式・起動式を執り行いました

当社は2021年12月3日、川崎製造所(川崎市川崎区)の製鋼工場内に導入した新電気炉(※)および建屋増築の竣工式・起動式を執り行いました。

※当社は新電気炉の通称を「E 炉」と命名しました。新電気炉の特徴を示す3つの英単語の頭文字Eを一つにして表記したものです。

Electric arc furnace with high efficiency, energy saving and environmental improvement (高効率、省エネ、環境改善に配慮した電気炉)

■竣工式・起動式の様子

新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、式典には建設工事関係者および当社関係者を合わせた数十名が出席しました。地元の川崎大師に所在する若宮八幡宮の神主による神事が厳かに行われ、社長の久保田尚志、川崎製造所長の山田恒による挨拶の後、山田により起動ボタンが押されると新電気炉の上部が開口し、そこから原料が自動投入されました。

新電気炉は試運転期間を経て、2022年1月に本格稼働を予定しております。



竣工式神事



施主挨拶 (代表取締役社長 久保田)



川崎製造所長 山田による初起動

■新電気炉の特徴

脱炭素社会に向けた潮流の中で、鉄鋼業界においては電気炉が注目されています。今回導入するのは、溶解効率促進のための「炉体旋回」と「電磁攪拌」の両方が備わった最新鋭の高効率電気炉です。又、炉本体は大きな囲いで覆われており、集塵・防音効果も向上し、さらには炉前作業の多くが自動化されることで、作業環境も大きく改善されます。加えて炉体交換方式を採用することで、炉内側の耐火煉瓦のメンテナンスのチャンスフリー化とメンテナンス作業の環境改善も図っております。この高効率な電気炉の効果を最大限活用し、エネルギーコストの削減および環境負荷の低減も図り、サステナビリティ社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。



製鋼工場 新電気炉 増築建屋



新電気炉 炉体